

事務事業名		西部公民館生涯学習推進事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	教育委員会事務局
総合計画体系	基本政策	4	ふるさとを学び育つ文化のまちづくり	課・室	西部公民館
	政策	02	社会教育・生涯学習の充実	係	
	施策	01	社会教育・生涯学習の充実	内線電話	8003
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
	目	3目	公民館費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民		意図（どのような状態にしたいのか）	主体的な学習と問題解決を図るための生涯学習の場を増やす。
現状・課題	変化する社会の中で市民ニーズの把握に努め、各種講座を開催している。				
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	社会教育法			
事務事業概要	各種講座及び文化祭（文化・芸能）を開催する。				
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容			活動量	
	各種講座の実施回数			60回	
	文化祭の実施回数			1回	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	4,003,000	4,032,000
補正・流用等		円			—	
合計		円	4,003,000	4,032,000	4,677,000	
決算（見込）額 A			円	3,702,053	4,032,000	—
財源内訳	国庫支出金		円			
	県支出金		円			
	市債		円			
	その他特定財源		円			
R2は予算額	一般財源		円	3,702,053	4,032,000	4,677,000
正規職員数			人	0.35	0.35	0.62
人件費 B			円	2,251,900	2,254,700	3,994,040
総事業費 A+B			円	5,953,953	6,286,700	8,671,040
市民1人当たりコスト			円	139	148	205

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
各種講座への参加人数		増加	目標	1,500	人	1,500	人	1,500	人
			成果	1,341	人	1,664	人	—	
文化祭への参加人数		増加	目標	1,550	人	1,500	人	1,500	人
			成果	1,760	人	—	人	—	
成果指標と目標値を設定した理由	より多くの地域住民の方に各種講座、文化祭に参加していただくため。								

令和2年度の実施方針	効率的に実施	活動量	増やす	コスト	維持する	成果	維持する
	引き続き市民ニーズの把握に努め、講座等の内容充実を図る。						

